

保護者の皆様

令和5年10月6日

川崎市立田島小学校
校長 中原 義郎

令和5年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

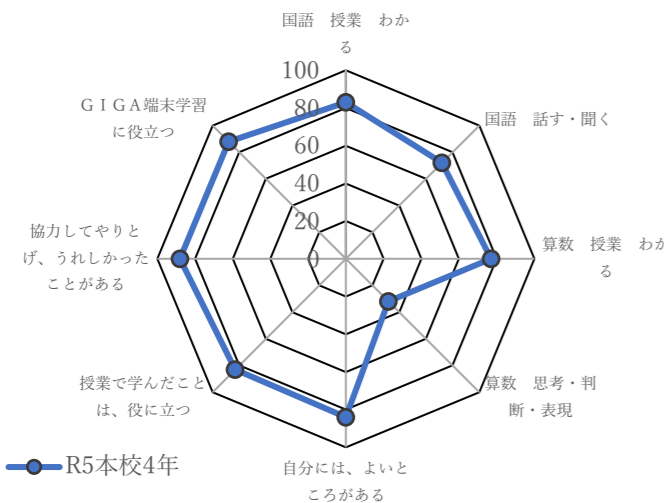
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月11日（火）～13日（木）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（火）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（よく学ぶ子、思いやりのある子、たくましい子）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標（よく学ぶ子、思いやりのある子、たくましい子）

【田島小学校が育成を目指す資質・能力】

- 様々な場面で活用できる基礎的・基本的な知識や概念及び技能
- 自ら社会と関わりながら課題を見つけ、考え、解決し、表現する力
- 多様な価値を受容し、他者を尊重しながら、ともに生きていこうとする態度

令和5年度 川崎市学習状況調査 4年生

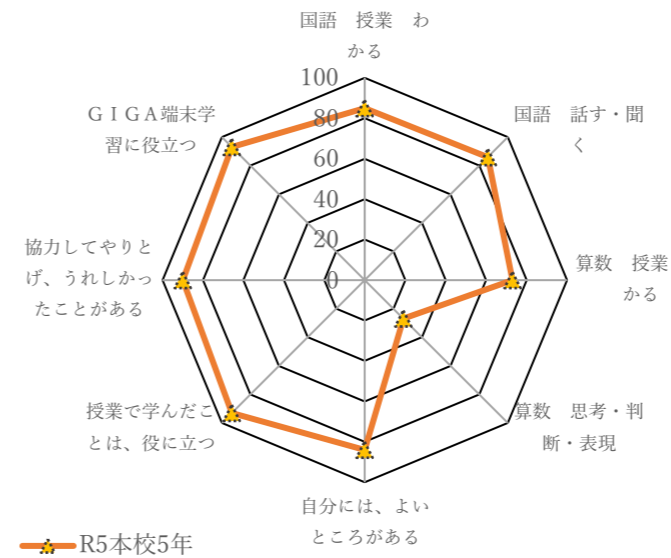


・「国語の授業がわかる」は全国平均より3ポイント、「話すこと・聞くこと」は6ポイント下回りました。楽しい、やってみようという気持ちを大切に、学ぶことの楽しさを伝えられるような学習内容を展開し、学習への理解が進むよういねいに支援していきます。次年度は全国平均に並べるようポイントアップを目指します。

・「算数の授業がわかる」は全国平均より8ポイント、「思考・表現・判断」は7ポイント下回りました。学校教育目標で目指す資質・能力を踏まえ、学んだことを生かして筋道を立てて考え、自分と友だちの考えの相違点を見つける活動を重視していきます。次年度は全国平均に近づけるようポイントアップを目指します。

・「自分には、よいところがあると思う。」は84ポイントです。友だちの良いところや頑張っているところなどを伝え合う活動など自己肯定感を高めていける活動を行っていききたいと思います。次年度は全国平均を上回れるよう努めてまいります。

令和5年度 川崎市学習状況調査 5年生



・「国語の授業がわかる」は85ポイントでした。また、「話すこと・聞くこと」は86ポイントで、全国平均を1ポイント上回りました。本校では、自分の思いや考えを伝え合う子の育成を研究テーマに、日々実践している成果が表れたと考えます。これからは、全員が参加する話し合い活動を目指して、グループでの話し合いや発表の活動をさらに重視します。次年度は「国語の授業がわかる」が、全国平均に並ぶよう取り組みます。

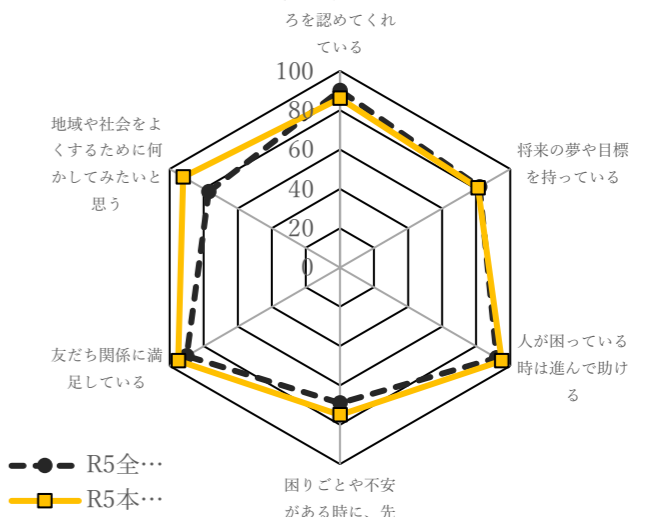
・算数の「思考・判断・表現」は、27ポイントでした。全国平均の33ポイントを6ポイント下回りました。課題に対して一緒に考えたり、考えを共有し合ったり、問題を作成したりする活動を重視していきます。次年度は7ポイントアップを目指します。

・「自分には、よいところがあると思う。」は、84ポイントでした。友だちの良いところや頑張っているところなどを伝え合う活動をしています。今後も、自己肯定感を高める活動を大切にしていきます。

令和5年度 川崎市学習状況調査 6年生



全国学力・学習状況調査 6年生



・「国語の授業がわかる」は市の調査では86ポイントでした。全国平均より1ポイント下回りましたが、本校の研究テーマを経て着実に伸ばすことができました。今後も4、5年次の取組を継続します。

・「算数の授業がわかる」は市の調査では77ポイントでした。全国平均より1ポイント上回りました。今後は、基礎基本の定着に時間をかける取組を継続していくとともに、自分の学習を振り返って、よかったところを確認したり、次に生かすことを考えたりする活動を行います。見通しと振り返りを大切に授業に取り組んでまいります。

・「授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つ。」は94ポイントでした。全国の平均より2ポイント上回りました。また、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。」は、92ポイントでした。全国平均の77ポイントを大きく上回りました。学校教育目標の「たくましい子」の実現に向けて、学習場面でも生活場面でも自身の学びを生かしながら積極的に挑戦しようとする意欲を育てていきます。

・「G I G A 端末は学習の役に立つと思う。」は97ポイントでした。全国平均の91ポイントより6ポイント上回りました。端末を活用した授業改善を継続しつつ、個別最適な学び、協働的な学びを実現するために、個々の見取りから資質・能力のより一層の育成に努めてまいります。